



2020年10月30日

各 位

東京都中央区東日本橋一丁目5番6号  
インヴァスト株式会社  
代表取締役社長 川路 猛  
(JASDAQ コード : 7338)  
問合せ先 : 取締役 大村 祐一郎  
(TEL 03-6858-7105)

## 上場廃止となった子会社（インヴァスト証券株式会社）に関する決算開示について

2020年10月1日をもって完全子会社化したインヴァスト証券株式会社に関する2021年3月期第2四半期決算短信（2020年4月1日～2020年9月30日）について、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 インヴァスト証券株式会社  
 URL <https://www.invast.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）川路 猛  
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 （氏名）三ヶ田 裕信 TEL 03-6858-7100  
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 2020年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,157	△7.0	2,141	△3.3	50	802.8	7	△64.6	△2	—
2020年3月期第2四半期	2,320	11.5	2,215	10.3	5	△97.6	20	△91.5	15	△92.0

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 7百万円（267.1%） 2020年3月期第2四半期 2百万円（△98.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△0.34	—
2020年3月期第2四半期	2.63	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	103,211	10,743	10.4
2020年3月期	107,903	10,849	10.0

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 10,725百万円 2020年3月期 10,829百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	19.00	37.00
2021年3月期	—	18.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年9月29日付で上場を廃止していることから、2021年3月期（予想）を記載しておりません。当社の完全親会社であるインヴァスト株式会社の配当予想につきましては、2020年10月1日公表の「2021年3月期配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 （社名）

除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,876,331株	2020年3月期	5,904,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	-株	2020年3月期	28,069株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,876,331株	2020年3月期2Q	5,876,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2020年10月1日付で、単独株式移転により完全親会社となるインヴァスト株式会社を設立し、同社の完全子会社となりました。これに伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場に上場していた当社株式につきましては、2020年9月29日付で上場廃止となりました。

※ 四半期報告書の提出について

当社は、2020年9月29日付で上場を廃止していることから、四半期報告書を提出いたしませんので、提出予定日を記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界規模での拡大により経済活動が停滞したことや、貿易の大幅な縮小に加えて米中の対立激化が重石となり、製造業・サービス業ともに企業収益を大きく減少させる結果となりました。

外国為替市場では、ドル円相場が昨年度末に大きく売り込まれる場面が見られましたが、当該計算期間においては、104円から110円までのレンジで、比較的落ち着いた値動きとなりました。欧米各国が総じて超低金利となっていることから、金利面での変動要因が剥落し、リスクオン・リスクオフ両局面で、ドルと円が同じ方向で動く状況が継続しました。金利の優位性が薄れたことや、パンデミックに対して米ドル供給が十分に行き渡っていること等から、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなり、結果的にクロス円は堅調地合いを維持する結果となりました。

株式市場はドル円相場同様、昨年度末に大きく売り込まれましたが、その後は世界的な金融緩和環境の中でリスク資産を集める結果となり、S&P500とナスダックは9月に史上最高値を更新する場面も見られました。

このような経済状況のもとで、当社は、注力サービスである「トライオートFX/ETF」のリニューアルを実施し、これにあわせた各種キャンペーンを行う等、マーケティング活動を強化いたしました。

また、取引所CFD「くりっく株365」の吸収分割による事業譲渡や店頭FX「FX24」のサービス終了（「トライオートFX」に事業統合）等により、経営資源をコア事業の強化や新規事業への投資に集中させることができ体制整備を行いました。

一方で、オーストラリアの子会社Invast Financial Services Pty Ltd.（以下「IFS」といいます。）は、FX取引高の減少により収益低調が続きましたが、コスト調整により利益確保しております。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の営業収益は21億57百万円（前年同四半期比93.0%）、純営業収益は21億41百万円（同96.7%）となりました。また、販売費・一般管理費は全体で20億91百万円（同94.6%）となり、営業利益は50百万円（同902.8%）、経常利益は7百万円（同35.4%）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同四半期は15百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

また、2020年9月末の連結預り証拠金残高は、733億8百万円（2020年3月末比102.8%）となりました。

なお、当社は、2020年10月1日を効力発生日として、単独株式移転の方法により、完全親会社であるインヴァスト株式会社を設立し、持株会社化いたしました。

持株会社体制への移行は、新規事業の創出や、事業多角化を進めるうえで、事業提携、M&A等の手段を活用しやすくするだけでなく、事業会社への一定の権限委譲による意思決定の迅速化、リスク管理の最適化等、当社グループの成長の基盤となる重要な施策であると考えております。

セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① 国内金融事業

国内金融事業においては、当社が取引所FX/CFD、店頭FX/CFD事業を行っております。また、子会社インヴァストキャピタルマネジメント株式会社が貸金業（不動産業者向けファイナンス、中小企業向け事業資金ファイナンス等）を行っております。

国内金融事業の純営業収益は15億37百万円（前年同四半期比117.2%）となり、セグメント損失は6百万円（前年同四半期は49百万円のセグメント利益）となりました。

② 海外金融事業

海外金融事業においては、オーストラリアの子会社IFSが店頭FX/CFD及び証券取引サービスを行っております。IFSの決算日は12月31日となっているため、当第2四半期連結累計期間においては、2020年1月から6月までの実績を反映しております。海外金融事業の純営業収益は6億24百万円（前年同四半期比67.9%）となり、セグメント利益は50百万円（前年同四半期は47百万円のセグメント損失）となりました。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

① 受入手数料

当第2四半期連結累計期間の受入手数料の合計は3億77百万円（前年同四半期比128.9%）となりました。内訳は以下のとおりであります。

・取引所為替証拠金取引に係る受入手数料	1億35百万円（同108.5%）
・委託手数料	12百万円（同128.9%）
・投資顧問料	2百万円（同42.2%）
・その他の受入手数料	2億26百万円（同149.7%）

② トレーディング損益

当第2四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、15億61百万円(前年同四半期比91.7%)の利益となりました。これは店頭FX取引等によるものであります。

③ 金融収支

当第2四半期連結累計期間における金融収支は、19百万円(前年同四半期比21.4%)となりました。主な発生要因は預金利息によるものであります。

④ 販売費・一般管理費

当第2四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、20億91百万円(前年同四半期比94.6%)となりました。主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	5億69百万円(同150.4%)
・人件費	6億43百万円(同97.2%)
・不動産関係費	6億35百万円(同94.9%)
・事務費	13百万円(同54.1%)
・減価償却費	1億9百万円(同116.7%)
・租税公課	81百万円(同137.3%)
・貸倒引当金繰入額	0百万円(同0.3%)
・その他	37百万円(同60.4%)

⑤ 営業外収益

当第2四半期連結累計期間においては1百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・貸倒引当金戻入額	1百万円
・未払配当金除斥益	0百万円
・その他	0百万円

⑥ 営業外費用

当第2四半期連結累計期間においては45百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・匿名組合投資損失	23百万円
・事業撤退損	9百万円
・為替差損	6百万円
・固定資産除却損	4百万円
・その他	1百万円

⑦ 特別利益

当第2四半期連結累計期間においては0百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	0百万円
----------------	------

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して46億91百万円減少し1,032億11百万円となりました。

流動資産は、51億10百万円減少し1,015億93百万円となりました。流動資産の主な増加項目は、預託金の増加46億92百万円であり、一方、主な減少項目は、現金・預金の減少21億16百万円、短期差入保証金の減少22億32百万円、短期貸付金の減少4億62百万円と外為取引未収入金の減少48億85百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末と比較して4億18百万円増加し、16億18百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は924億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ、45億85百万円減少しました。

流動負債は、45億77百万円減少し924億17百万円となりました。流動負債の主な増加項目は、受入保証金の増加20億16百万円であり、主な減少項目は、短期借入金の減少41億円と外為取引未払金の減少24億47百万円でありま

す。固定負債は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し42百万円となりました。

また、特別法上の準備金は、7百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は107億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億6百万円減少しました。主な減少要因は配当金の支払いによる1億11百万円であります。

この結果、自己資本比率は10.4%（前連結会計年度末は10.0%）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当社は、2020年10月1日付で単独株式移転により完全親会社であるインヴァスト株式会社を設立し、同社の完全子会社となりました。インヴァスト株式会社の連結業績予想と配当予想につきましては、2020年10月1日に公表いたしました「2021年3月期配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	8,664	6,548
預託金	20,456	25,148
顧客分別金信託	2,790	4,400
顧客区分管理信託	17,260	20,443
その他の預託金	405	305
短期差入保証金	49,690	47,457
外為取引未収入金	25,987	21,101
短期貸付金	1,588	1,126
その他	322	214
貸倒引当金	△4	△4
流動資産計	106,703	101,593
固定資産		
有形固定資産	199	173
無形固定資産	334	404
投資その他の資産	665	1,039
投資有価証券	118	117
破産更生債権等	-	167
出資金	396	426
繰延税金資産	22	19
その他	128	309
貸倒引当金	△0	△0
固定資産計	1,199	1,618
資産合計	107,903	103,211
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受入保証金	71,291	73,308
短期借入金	4,100	-
外為取引未払金	20,976	18,529
未払法人税等	126	40
賞与引当金	75	35
役員賞与引当金	50	18
その他	373	485
流動負債計	96,994	92,417
固定負債		
繰延税金負債	8	17
その他	41	24
固定負債計	50	42
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	8	7
特別法上の準備金計	8	7
負債合計	97,053	92,467

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,965	5,965
資本剰余金	2,313	2,313
利益剰余金	2,579	2,431
自己株式	△34	-
株主資本合計	10,824	10,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118	156
為替換算調整勘定	△113	△141
その他の包括利益累計額合計	5	14
新株予約権	4	4
非支配株主持分	15	13
純資産合計	10,849	10,743
負債・純資産合計	107,903	103,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
受入手数料	292	377
トレーディング損益	1,703	1,561
金融収益	195	35
その他の営業収益	128	183
営業収益計	2,320	2,157
金融費用	104	15
純営業収益	2,215	2,141
販売費・一般管理費		
取引関係費	378	569
人件費	662	643
不動産関係費	670	635
事務費	24	13
減価償却費	94	109
租税公課	59	81
貸倒引当金繰入額	259	0
その他	62	37
販売費・一般管理費計	2,210	2,091
営業利益	5	50
営業外収益		
為替差益	42	-
貸倒引当金戻入額	-	1
未払配当金除斥益	0	0
その他	0	0
営業外収益計	43	1
営業外費用		
匿名組合投資損失	7	23
事業撤退損	-	9
為替差損	-	6
固定資産除却損	10	4
解約違約金	8	-
その他	1	1
営業外費用計	28	45
経常利益	20	7
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	3	0
特別利益計	3	0
税金等調整前四半期純利益	23	7
法人税、住民税及び事業税	84	15
法人税等調整額	△76	△5
法人税等合計	8	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△2

( 四半期連結包括利益計算書 )

( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 9 月 30 日 )
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	15	△2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	37
為替換算調整勘定	△29	△28
その他の包括利益合計	△12	9
四半期包括利益	2	7
( 内訳 )		
親会社株主に係る四半期包括利益	2	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは外国為替証拠金取引事業を主たる業務としており、お客様にはオンライン上での取引環境を提供する非対面型のビジネスモデルとなっております。

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した「新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り」についての重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	1,311	919	2,230	△14	2,215
セグメント利益 又は損失(△)	49	△47	1	4	5

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△14百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額4百万円は親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	1,537	624	2,161	△19	2,141
セグメント利益 又は損失(△)	△6	50	44	6	50

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△19百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額6百万円は親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(単独株式移転による持株会社の設立)

当社は、2020年5月19日開催の取締役会および2020年6月25日開催の定時株主総会において、当社の単独株式移転により、持株会社(完全親会社)である「インヴァスト株式会社」を設立することを決議し、2020年10月1日に設立いたしました。

詳細につきましては、2020年5月19日公表の「単独株式移転による持株会社設立に関するお知らせ」および2020年10月1日公表の「インヴァスト株式会社の設立に関するお知らせ」をご参照ください。